

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

鳥取県立米子東高等学校

重点項目	英語教育重点校	提出日	令和3年 2月 9日
------	---------	-----	------------

1 学校目標
1 主体的な学びの推進 (1) アクティブ・ラーニング等による授業改善と評価の改正 (2) SSH事業による科学的探究心・情報発信力・実践力の育成 (3) 進路指導の充実 2 豊かな人間性の育成 (1) 主体的・自律的態度の育成 (2) 部活動の奨励 (3) 体験的な学びの推進 3 地域に信頼される教育の展開 (1) PTA活動の推進 (2) 地域への発信 4 働き方改革の推進 (1) 時間外業務時間の削減 (2) 会議の精選
2 重点項目に係る目標
1 知識・技能を確実に習得させ、それらを活用して、自分の力で考えをまとめ、相手が理解できるように根拠を示して説明できる思考力・判断力・表現力を重視した授業を行う。 2 「生徒に何を教えるか」という知識の質や量とともに、「生徒にどのように学ばせるのか」という学びの質や深まりを重視した授業を行う。 3 AI社会に対応して、ICTを活用した「アクティブ・ラーニング」型授業によって、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。 4 「関心・意欲・態度」や「思考力・判断力・表現力」について、生徒の学習活動におけるパフォーマンスから評価する「パフォーマンス評価」を行うことによって可視化し、全体の評価に反映させる。 5 国際交流事業をとおして、体験的な学びを推進するとともに、コミュニケーション能力や友好関係を築く担い手を育成する。

(様式1)

<数値目標>

1 授業アンケート

- (1) 「この授業は自分にとって興味・関心がわく内容だった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上
- (2) 「この授業は良く準備され、工夫されていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の90%以上
- (3) 「この授業のパフォーマンス評価は課題設定も評価も適切なものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上
- (4) 「この授業はICTを活用したものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上
- (5) 「この授業はアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたものになっていた」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上
- (6) 「この授業は思考力・判断力・表現力の養成を重視したものだった」の問いに、肯定的な回答が生徒の85%以上

2 学校満足度アンケート

- (1) 「SSHによって、発表する力(レポート作成力、プレゼン力)が増したか」の問いに、肯定的な回答が生徒の75%以上
- (2) 「授業では生徒同士の話し合いや発表がよく行われているか」の問いに、肯定的な回答が生徒の80%以上

3 事業計画(事業名、事業概要)

【高等学校課事業】

1 外部人財活用事業

- (1) 社会人講師活用事業
中国語の講師を招聘し、台湾桃園市立陽明高級中学との交流についての事前学習会を開催する。
- (2) 県立高校・大学教員の教員交流事業
生命科学コースの生徒を対象に、鳥取大学から講師を招聘し、講演や実験を実施する。

2 新しい学びの創造事業

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業
アクティブ・ラーニングに関する講師を招聘して、教員研修会を実施する。
- (2) 生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座
「課題探究基礎」におけるレポート作成に関する講演会を実施する。

(様式1)

【学校独自事業】

1 アクティブ・ラーニング推進事業

(1) エキスパート教員等との授業交流

明治大学との高大連携事業として、全国的に有名なエキスパート教員を招聘して授業交流を行うことで、教員の教科指導力を向上させる。

(2) 探究的な学習の推進

・「課題探究応用」におけるプレゼンテーション講習

プレゼンテーションに関する講師を招聘して、生徒の発表力を向上させる。

・「課題探究発展」における英語による口頭発表指導補助

「課題探究発展」で英語による発表手法の指導を受け、生徒の英語での表現力・発信力を向上させる。

・探究的な学習に必要なスキル向上研修

探究学習に必要なスキルをどのように育成するのかをテーマとした研修を行う。

2 英語力向上事業

(1) 英語教員研修

英語教育に関する研修会や授業研究会に参加して、英語4技能についての指導力を向上させる。

3 国際交流事業

(1) 台湾桃園市立陽明高級中学の受け入れ

台湾の姉妹校の生徒を受け入れ、交流することによって、語学力や積極性の重要性を再認識し、グローバルな視野で国内外の問題に目を向ける。

(2) 台湾桃園市立陽明高級中学の訪問

台湾の姉妹校を訪問し、広い視野を持って異文化を理解し、世界で起こっている様々な問題に目を向ける必要があるとの認識を深める。

4 世界で学ぶ Tickets-to-the-World 事業

(1) Tickets-to-the-World Library

身近な生徒の留学報告を聞くことで、多くの生徒が留学や海外体験に関心を持ち、英語や異文化理解に対する意欲を高める。また留学を体験し、報告する生徒が自らの体験を語ることで、多くの生徒に成果を還元する。

(2) 異文化・国際交流講演会

異文化・国際交流に係る専門家を招聘し講演会を実施する。生徒は異文化・国際交流を経験した社会人有識者に直接話を聴くことで、海外での活動について具体的なイメージを描き、進路選択に活かすことができる。

※枚数任意